■陵南中学校区 B-1,B-2 【地域のありたい姿と必要なこと】

第2回 八王子市のみんなの未来を考えるワークショップ

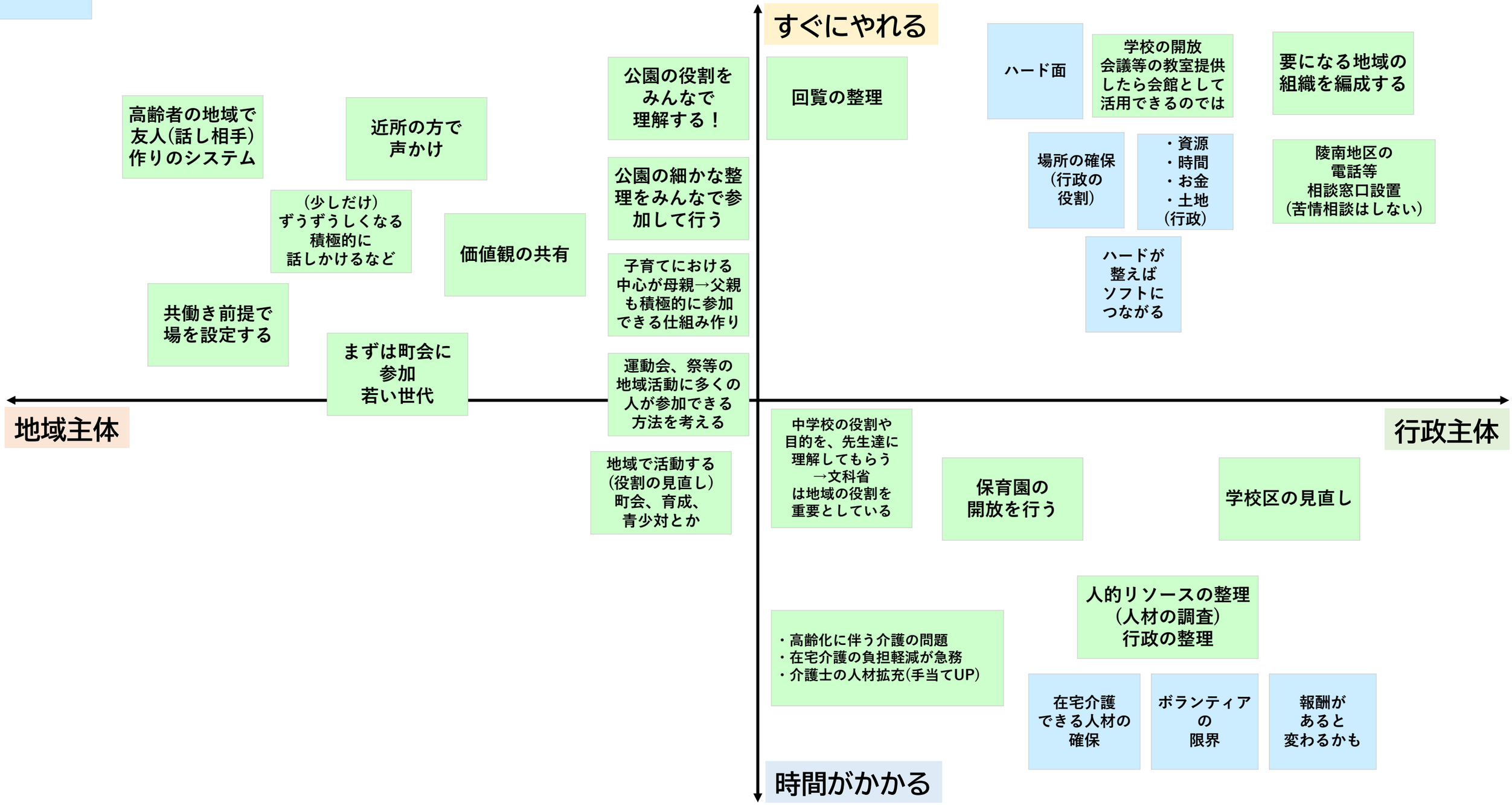
ありたい姿

あなたの街のコミュニティセンター陵南中学校

つながりをつくる

想い

・地域のために主体的に考え行動できる人材を増やしていきたい。
・地域にとって身近な学校を、住民が地域活動や会議など多様な使い方のできる場にしたい。



■陵南中学校区 B-1,2 【地域のありたい姿と必要なこと】

第2回 八王子市のみんなの未来を考えるワークショップ

制度・施策整備

・子供の
教育環境
・生活環境
・家族関係
・通信環境

<仕事も遊びも
子育ても地域で
完結>
ニーズの把握
(詳細に)
→具体的な施策

<仕事も遊びも
子育ても地域で
完結>
サポート体制の
充実(人、モノ、
場所)

駐車場の整備

・福祉ビジネスははたして
ビジネスになるのか
・福祉ビジネスをビジネス化
するための問題点アップ
→相応の負担は覚悟
(個人、税金いずれにせよ)

陵南と浅川は
セット

職住隣接

・つながり
◎子供(親)の考え方
をかえる場を作る
◎大学生
サークル(社会集
団)からの接近

身近に
仕事がある

陵南公園

陵南公園
BBQの場
水遊びの場
花壇の整備

CAFE移動販売

子どもから大人
まですべての
世代で一日を
すごせる場所
人々のオアシス

公園の活用

公園の活用
人と人との
ふれあいの場と
して

ICT

<ICTを活用し
た情報共有>
・人の育成
・ハード面の
普及

<仕事も遊びも
子育ても地域で
完結>
情報の共有化
→ICTの活用

ICTで情報発信

ヒトの確保

リソース
人的資産の活用

町会
学生、若い人に
メリットを理解
してもらうこと
またその機会が
少ない

人から人へ
親から子へ孫へ
成り手を増やす、
増やせる環境、
流れ作り

人的リソースが
限られる
(顔ぶれが同じ)
子ども、
学校関係に
おいて

地域のことを
考えていなかった人
も数年たつと
周りの人の誘いも
あって、地域のこと
を考える場にいる
誘い方次第でこう
いった人を増やせる
のでは

子は親を見て育つ

町会などにも自分
から参加するよう
になるのでは

親は移住して
きたところでも、
子にとっては
そこが
故郷になる

専業主婦の
地位向上

人がいない
(どこに
行っても
同じ人がいる)

家族

大家族(地域)に期
待すること
・自助共助の負
荷を減らす
・先輩を敬う徳育
・親に代わり子供
を見守り
・高齢者の生きが
いの促進
(趣味、友人作
り、おしゃべり)

陵南校区で大家族

歩いて10分程度
で交流できる
集団活動

陵南校区は
住宅商業施設、
電車、バスの
交通網は比較的
ととのっている
校区は約4km四方
である
10分徒歩は
約1km以内

大家族化への期待
・個人のやすらぎ
は金で買えるか?
・私は両親は共働き
であったが、祖母
が育ててくれた。
母が参観に来た
記憶はない。

大家族への期待
・公助にたより
がちを地域援助で
緩和。その分
公助でなければ
出来ない活動に
注力してもらう

シングルマザーの
削減
・結婚離婚は自
由。ただ子供
は親を選べない
・子育てに専念す
る覚悟で出産す
べき
・出来ちゃった結
婚はもってのほ
か

シングルマザー
を減らしたい

大家族への期待
・互助精神で負荷
の偏りをなくす
・共働きしやすい
環境
・情報の共有化の
仕組み作り

大家族のような

学校

人のつながりを
大切にする
教育を

自由学区
親が選ぶ
選んでる
その地域に
ついて根ざして
いない

地域への愛着を
持ちづらい
(自由学校区)

学校を選ぶのは
「親」

自由学区制度が
地域の
つながりを
希薄化
させている

教師の
地域への理解

地域

その場に
すんでるだけ
地域のことを
考えることが
ない

地域に対する
帰属意識

親は移り住んで
きても、
生まれた
子供には故郷

地域貢献とは?